令和6年度補正GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事例

事業実施主体：芦別RICE北海道米輸出拡大推進協議会
品目　　：コメ

	令和6年度	令和7年度	前年比
輸出額	約2.1億円	約2.6億円	122%
輸出量	約1,286トン	約1,294トン	101%





（左）ドローンを活用した防除　（右）フレックスコンテナの活用

課題	取組	成果
作業負担軽減・生産コスト削減 ✓ 作付け拡大等のため省力化が必要	**スマート農業の導入** ✓ 自動運転・ドローン等活用	**作業負担の軽減・生産コストの削減** ✓ 作業効率アップ・労働負担軽減 ✓ 防除コスト削減 道平均1,200円/10aに対して900円/10a ✓ 農薬の共同購入によって生産コスト削減
米国、EUの残留農薬基準への迅速な対応 ✓ 輸出増による検体数増加で対応時間延長	**残留農薬検査体制の強化** ✓ 残留農薬の検査機関を1社追加	**検査による輸出遅延を回避** ✓ 米国、EU向け輸出体制の構築
輸出拡大に向けた物流体制の構築 ✓ 貯蔵方法・物流体制の確立 ✓ 品質、コスト、現地評価の把握	**貯蔵方法・物流体制を検証** ✓ 貯蔵倉庫の確保と物流体制の構築 ✓ 品質、コスト、現地評価を検証	**物流の効率化と安定化** ✓ フレコン活用による作業の軽減 ✓ 安定的な物流構築に向けた知見を獲得